

令和4年7月13日

学校法人 桑園学園
札幌情報未来専門学校
自己評価委員会
学校関係者評価委員会

令和3年度 学校関係者評価委員会 議事録

日 時 令和4年7月4日(月) 16:45～17:45

場 所 札幌情報未来専門学校 会議室

開 催 名 令和3年度 学校関係者評価委員会

対象学科 ITシステムエンジニア学科

出席者

1. 学校関係者委員会

学外委員 (順不同)

- ・大野 俊 様 (北海道リージョナルリサーチ 監事)
- ・小賀 聡 様 (IT系分野専攻 大学講師)
- ・英 大典 様 (札幌情報未来専門学校 卒業生代表)

2. 内部委員

- ・小林 仁 (校長・司会進行)
- ・田中 秀一 (教員)
- ・北國 裕太 (教員)

議 事

- (1) 委員就任承諾について
- (2) 令和3年度自己評価について
自己評価アンケート集計結果
問題点の抽出および改善・意見
- (3) 次年度動向について
- (4) その他 ご意見等

(1) 委員就任承諾について

- ・本年度より、学外委員として新たに小賀様が就任

(2) 令和3年度自己評価について

1 教育理念・目的 における問題点

- ◆項番1 学科ごとの育成の人材像の明確化
- ◆項番2 学校の特色は何か
- ◆項番3 学校の将来構想を抱いているか

①在籍学生数の増加に伴い、今後の当学園のビジョンを明確化する

《改善・対策》

入学者が増加傾向にある現状において、「建学の精神」を再度見据え、職業教育に必要な技術習得のカリキュラムを検討し、「学校力」を向上させる。

2 学校運営 における問題点

- ◆項番4 情報システム化等による業務の効率化がはかられているか

①校内システムのOSおよびデータベースの老朽化

《改善・対策》

・現システムは現在の学校業務の要件を満たしておらず、新システムへの制作と移行を検討する。

3 教育活動 における問題点

- ◆項番4 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか
- ◆項番6 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

①近年の業界ニーズの変化にあわせたカリキュラムの見直しおよび、科目の新設に伴う必要人材の確保

《改善・対策》

企業が求める技術と入口側で人気のある技術との乖離があり整理が必要。また専任講師も技術の幅を広げる努力と非常勤講師の確保においてもチャンネルを広げていく。

- ◆項番8 資格取得の指導体制はあるか

①専任講師の人員不足

《改善・対策》

就職指導等により、資格取得の指導時間が減少しているため増員する必要がある。

4 教育成果 における問題点

- ◆項番1 就職率の向上が図られているか
- ◆項番3 退学率の低減が図られているか

《改善・対策》

退学者・休学者となる要因に新たな要素がありメンタル的な問題が増加しているため、今後の指導方法を検討する必要がある。

5 学生支援 における問題点

- ◆項番5 保護者と適切に連携しているか
- ◆項番6 卒業生への支援体制はあるか

《改善・対策》

卒業生への追跡調査を実施するが、在所確認方法の検討が必要。

【委員コメント】

学校長) 保護者との連携体制については前年度より向上しているが、今後はより家庭環境も把握した上での指導も必要と考える。

6 教育環境

- ◆項番1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できているか

《改善・対策》

一部実習室のPCが老朽化しており、今後のカリキュラムに十分対応できる性能を調査し機器更新を行う。

7 学生の募集 における問題点

- ◆項番1 学生募集活動は、適正に行われているか

《改善・対策》

入学者を定員まで確保することを目標とし、同業他社との差別化、特色を打ち出す。

【委員コメント】

学校長) 学生募集については全体的に上昇傾向である。しかし、就学支援制度の認定要件の一つである定員充足率が年々厳しくなっており、入学者の4割程度が本制度を利用しているため今後も安定した入学者の確保が必要である。

8 財務 における問題点

- ◆項番1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか

《改善・対策》

保有資産の有効利用と建物更新の検討段階に入っている。

9 法令等の遵守 における問題点

- ◆項番1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

《改善・対策》

法令の改正や問題点を発見した場合に、放置せず迅速に対応できる体制を整える。

10 社会貢献

- ◆項番1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献

- ①新型コロナ感染防止のため、教員向けサマーセミナー、新春セミナーの実施はできず
- ②中学生（上級学校訪問）対応 一部実施

《改善・対策》

教員向けセミナーについては新型コロナの影響により対面でのが難しい状況のため、オンライン開催や一旦休止も検討する。

(3) 次年度動向について

- ・募集活動において、高校3年生の進路決定の動きが例年に比べ数か月前倒し傾向にある。今後は3年生の早期確保および大学併願者の確保が必要となる。

(4) その他

- ・特になし

以上